

令和6年第9回大河原町教育委員会定例会会議録

- 1 **招集日時** 令和6年9月20日（金） 午後2時00分
- 2 **招集場所** 大河原町役場 2階 第1会議室
- 3 **出席委員** 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、片倉亜寿香委員、鈴木洋教育長
- 4 **説明のため出席した者**
櫻田尚 教育総務課長、齋修 生涯学習課長、小野寺淳一 学校教育専門監、
- 5 **開 会** 午後2時00分
- 6 **令和6年第8回教育委員会定例会会議録の承認について**
鈴木教育長 | （委員全員に諮って）承認する。
舟山委員、一盃森委員 署名。
- 7 **教育長報告**
 - (1) **一般事務報告**
報告第7号 令和6年第3回大河原町議会定例会（9月会議）の結果について
報告第8号 教育委員会委員の任命について
教育総務課長、生涯学習課長より説明。
 - (2) **専決事務報告**
報告第4号 専決処分の報告について
（令和6年度大河原町一般会計補正予算（第4号））
報告第5号 専決処分の報告について
（令和6年度大河原町一般会計補正予算（第5号））
教育総務課長、生涯学習課長より説明。
- 8 **議 事**
議案第34号 特別支援教育支援員の任命について
教育総務課長より説明。
鈴木教育長 | （委員全員に諮って）可決する。

9 その他

(1) 教育長報告

1 編集手帳（読売新聞）

イーロン・マスク氏は、子供の頃、1日に2冊本を読んでいた。とても素晴らしいことである。国の調査では、最近の新聞記事に6割りは本を読まないと載っていた。でも、大河原町の子供たちはよく読んでいると思う。各学校で工夫して、図書室に連れて行ったりしている。読書量は全国的に見ても低い方ではないという状況である。

2 全国学力・学習状況調査問題【国語】

(1) 小学6年国語【大問1】（大塚健太郎）

(2) 中学3年国語【大問3】（鈴木太郎）

(3) 「読むこと」の授業改善【座談会】

(4) 漢字の読み書き問題

全国学力・学習状況調査の国語の問題である。やはり、表現の問題で正答率が低くなっている。中学校の問題。物語文を読んでそのあとの文章を想像する問題があり、こちらも正答率が低くなっている。普段書いていないと書けない問題が出ている。

やはり、読み取ったことを自分の表現で生かしていく、工夫していく、そういう力が求められていると思う。

漢字の読み書きについて。以前には問題が多く出されていたが、令和になってからは、問題が出なくなった。しかし、漢字の読み書きは、しっかり身に付けて社会に出た方がよいことは誰もが認めることである。

3 『教師たちの挑戦』（佐藤学）

4人の授業実践が紹介されている。4人の先生がつくる授業はみな、「子供の尊厳を一人残らず授業の中で尊重」している。

対話的な学びとか、あるいは先生と生徒の関わり方、生徒同士の関わり方、そういうことを丁寧に紡いでいく授業が求められている。

分からない事を素直に言える。そういう雰囲気を作り作っていかなければならないし、分からないのは正しいことで、大人でも分からないことがあることを伝えていかなければならないと思う。

4 対話

(1) 『対話の技術』(田中博史)

(2) グローバル時代に求められる『対話型授業』

子供が話したくなる「対話の技術」が紹介されている。

例えば、『ペアトークでは、「お隣同士で」と言ったとき、ドッと堰を切ったようにペアで話を始める状態が良い状態。』とある。このような状態になるため、事前の仕掛けが必要である。分かるような資料を子供たちに渡して、そこから話し合いを始めるなど。そのような手立てが必要だと思う。

5 「5校時限の日」の設定

令和6年度の教育計画を見てみると、大小は週2回の5校時限の日が設定されているが、金小・南小は二週に3回、大中・金中は週1回の設定となっている。

設定回数の少ない学校では、各教科への振り分け時数が行われている。もう一度検討が必要である。

6 教職員の事故防止(風通しのよい職場づくり) 他人事ではなく他山の石として

7 生徒指導

8 人事異動等について

教職員の事故防止、生徒指導、人事異動等について説明。その他、今年度の研修者や優秀教員等表彰推薦者について説明。

9 その他

各種事業、研修会、会議、授業の様子等について資料により説明。

丹羽委員	子供たち同士で話し合いをする授業の持ち方が素晴らしい。技術も必要で、大河原小学校の先生方の指導は、まさにその通りだなと思います。子供たちは恵まれた環境で学んでいるという感じがしました。
舟山委員	P69 田中先生の話。いじめの問題も対話での指導がとても素晴らしい。私も、このいじめの問題に関しては細かく子供たちを見るようにしていました。こういう指導の仕方を全ての先生方にしてもらえたら、子供たちは救われると思ひ読ませていただきました。
片倉委員	明日の青少年を育てる会のサミットについて。サミットに選ばれた子は、立候補して会議に参加している形ですか。
小野寺専門監	詳しくは聞いていないが、計画委員会の子を中心に、小学校の方で選抜したのかなと思う。
片倉委員	とても良い取り組み。6年生だけではなく、こういうのがあったことを、高学年の例えば5年生とか4年生も知っておくと、次の学年に上がった時に、

	<p>予備知識というか関心を持って取り組める。6年生だけじゃなく、5年生や4年生ともいっしょにディスカッションじゃないけれど話をされるととても良いと思う。</p>
小野寺専門監	<p>各校で事前にテーマを決めて話し合いをしてきているので、おそらく6年生だけではなく、高学年ともに話しをしていると思う。中学生は全校でメディアの良い所や課題になるルールを考えて抽出してきている。</p>
片倉委員	<p>我が子が5年生ですが、ぜひ、参加させたいと思いました。</p>
一盃森委員	<p>授業づくり、授業改善の話。各学校で校長先生は、この資料をどのように活かしているのか。例えば、佐藤学先生の話もそうだし、田中博史先生の話もそうだが、実践に則して具体的に書かれている。</p> <p>田中先生などは、例えば、助教授の時代はもっと学問的だったと言っている。実践レベルの話ではなく、学問レベルの話からスタートされている。田中先生の長い取り組みや関りの中で、やはり実際の授業レベルで考えていかないと、教育っていうのは駄目だと思う。</p> <p>今現在、田中先生は筑波の附属小学校の副校長をされていて、実際に授業もされている。このような事例を紹介されて、各学校の校長先生がどのように活かしているのかと思った。テーマを持って提示されているものを学校として、授業改善はもちろん、先生方が努力しているが、学校ごとに学校として、話し合わせ方の工夫改善のために、具体的にどのような手順をたどったらよいか。自分のクラスの現状はこうだが、改善していくために、どのような道筋をたどったらよいか。よく話し合っているのかと思った。</p> <p>やはり、問い返しだとか子供への投げかけとか、どうしてそのように考えたのかを大事にしていかなければならないと思います。</p>
鈴木教育長	<p>私も資料を校長会で渡して、先生方にどれくらい伝わっているのかという思いがありまして、素晴らしい資料については、その部分だけ多く配付して、若い先生方にゆっくり読ませてくださいと言っている。</p> <p>あと、校長会資料をPDFにして、電子データで学校へ送っている。</p> <p>やはり、どれだけ本当に先生方に伝わっているのかと私も思いました。</p>
丹羽委員	<p>これは、ぜひ、若い先生方じゃなくても、本当に先ほどの舟山先生の50代の先生の言葉とは思えないなんていう話もありました。</p> <p>やはり、全ての先生が学び直さなきゃいけないことだと思います。</p>

(2) 各課長報告

教育総務課長、生涯学習課長

令和6年度行事予定について説明。

10 次回教育委員会の開催日程について

鈴木教育長 | 次回の定例教育委員会は令和6年10月18日（金）午後2時から開催する。

11 閉会宣言 午後3時30分

令和6年10月18日

署名委員

署名委員